

	まえがき	xi
第 1 章	はじめに	1
	☺ 執筆作業は難しい	
	☺ いかにして身につけるか	
	☺ 本書のアプローチ	
	☺ 本書の構成	
第 2 章	言い訳は禁物	11
	— 書かないことを正当化しない	
	☺ 言い訳その 1「書く時間がとれない」 「まとまった時間さえとれば、書けるのに」	
	☺ 言い訳その 2「もう少し分析しないと」 「もう少し論文を読まない」と	
	☺ 言い訳その 3「文章をたくさん書くなら、新しいコンピュータが 必要だ」	
	☺ 言い訳その 4「気分がのってくるのを待っている」 「インスピレーションが湧いたときが一番よいものが書ける」	
第 3 章	動機づけは大切	33
	— 書こうという気持ちを持ち続ける	
	☺ 目標を設定する	
	☺ 優先順位をつける	
	☺ 進行状況を監視する	
	☺ スランプについて	
第 4 章	励ましあうのも大事	55
	— 書くためのサポートグループをつくろう	
	☺ 執筆サポートグループの誕生	
第 5 章	文体について	65
	— 最低限のアドバイス	
	☺ 悪文しか書けないわけ	
	☺ よい単語を選ぶ	
	☺ 力強い文を書く	
	☺ 受動的な表現、弱々しい表現、冗長な表現は避ける	
	☺ まずは書く、後で直す	

- 原則を守れば必ず書ける
- ☉ 研究論文を書くためのヒント
- ☉ アウトラインの作成と執筆準備
- ☉ タイトル (Title) とアブストラクト (要約、Abstract)
- ☉ 序論 (イントロダクション、Introduction)
- ☉ 方法 (Methods)
- ☉ 結果 (Results)
- ☉ 考察 (Discussion)
- ☉ 総合考察 (General Discussion)
- ☉ 参考文献 (References)
- ☉ 原稿を投稿する
- ☉ 査読結果を理解し、再投稿する
- ☉ 「でも、リジェクトされたらどうすればよいのですか?」
- ☉ 「でも、何もかも変えろと言われたらどうすればよいのですか?」
- ☉ 共著論文を書く
- ☉ レビュー論文を書く

- 知っておきたいこと
- ☉ なぜ本を書くのか
- ☉ 簡単なステップ 2 つと大変なステップ 1 つで本を書く
- ☉ 出版社を見つける
- ☉ 細かい作業もたくさん発生する

- 「まだ書かれていない素敵なことから」
- ☉ スケジュールを立てる楽しみ
- ☉ 望みは控えめに、こなす量は多めに
- ☉ 執筆は競争ではない
- ☉ 人生を楽しもう
- ☉ おわりに